

石巻北高等学校

校訓 進取 自愛 和協



1 基本データ

創立：大正14年
 課程・学科：全日制課程・総合学科
 生徒数：550名
 所在地：〒986-1111
 石巻市鹿又字用水向126番地
 TEL：0225-74-2211
 FAX：0225-74-2212

ホームページアドレス：
<http://www.ishikita.myswan.ne.jp>
 電子メールアドレス：
 chief@ishikita.myswan.ne.jp
 主な交通機関：
 ◆JR：石巻線・鹿又駅から徒歩3分
 ◆自転車：石巻駅から30分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

「人の数だけ道がある」
 「めざせ！ 地域のスペシャリスト！！」
 「十人十色」という言葉のように、人の生き方や進む道はそれぞれ異なります。石巻北高校は、一人ひとりの生徒とじっくり向き合い、それぞれの夢の実現を全力でサポートします。特に、2年次以降は「食農」「家庭」「経情」「教養」「進学」の5つの系列に分かれ、各自が希望する進路を達成するために、専門的な学習に取り組めます。

意欲に満ちた生徒と、経験豊かな教員が一体となって創り上げるスクールライフは、必ずや皆さんの期待に応えるものになるはずです。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は、大正14年4月、鹿又村の高橋三郎翁が、当地区の女子教育の重要性に思いを寄せられ、「宮城県鹿又実科高等学校」として開校しました。その後、「宮城県前谷地高等学校」、「宮城県農事講習所」が合併するなど、いくつかの変遷を経て、昭和41年4月1日に「宮城県河南高等学校」と改称、そして、平成22年4月、総合学科に学科改編し、校名も「石巻北高等学校」として生まれかわりました。

石巻北高の主眼は地域のスペシャリストの育成です。食農系列、家庭系列、経情系列、教養系列、進学系列の5つの系列(コース)を設け、地域と共に歩む、開かれた高校を目指しています。

(2) 設置学科等

(過去3年間の学科コース別・前後期選抜別の出願者数・合格者数)

<前期選抜>

		H29	H28	H27
総合学科	出願者数	99	66	95
	合格者数	80	66	80

<後期選抜>

		H29	H28	H27
総合学科	出願者数	136	103	186
	合格者数	120	103	121

(3) 教育方針

本校の校訓は「進取」「自愛」「和協」です。「進取」とは「これまでの発想にとらわれず、意欲的に物事に取り組み、自分を成長させようとする事」。「自愛」とは「自分の人生を大切に、個性が輝くような生き方を目指す事」。「和協」とは「異なる価値観を持つ人々と相互理解を図り、協力して物事にあたること」です。

この校訓に基づき本校では、「生徒一人ひとりの個性が輝く」教育を推進しています。具体的には、「教わる」から「学ぶ」という主体的な学びへの転換、「系列の特色を生かした指導」による充実した学校生活、「魅力ある授業」「魅力ある行事」を通じた社会との円滑な接続を教育方針としています。

(4) 教育課程の特色

本校総合学科では、1年次は全員共通の学びを行い、2年次から始まる「5つの系列」についてじっくり考えることができます。1年次での系列選択に向けて核となる科目が「産業社会と人間」です。「自分とは?」「社会とは?」等について学び、自分の生き方や卒業後の進路も念頭に置いた納得のいく系列選択ができます。これらの学びは、卒業後の自分の「生きる糧」となり得るものです。本校の「5つの系列」とそれぞれの系列の「ねらい」については、次の通りです。

- ①食農系列** … 農産物や草花の栽培と経営に関する知識・技術を身につけます。また、食品製造実習を通して食品の加工や食品を衛生的に取り扱うことのできる能力を育てます。
- ②家庭系列** … 衣食住や保育・福祉等の生活に関する知識・技術を身につけ、変化する社会の中で自立して生活できる実践力を養います。
- ③経情系列** … 経営・経理・販売の基本からコンピュータ、ビジネスマナー、経営全般の専門知識を深く学習し、会社や店舗を経営する起業家や経営後継者としての実力を備えた経営のリーダー養成を目指します。
- ④教養系列** … 国・数・英・社・理の5教科を重点的に学習し、一般教養を広く身につけると共に、地元企業が求める資格を積極的に取得し、希望する進路の達成を目指します。また、芸術科目も重視し、豊かな感性を育てます。
- ⑤進学系列** … 人間・社会・自然についての知識・理解を深め、進学に向けた学習を進めます。また、小論文を書く力も強化します。大学や看護・医療系学校への進学及び各種公務員合格を目指す生徒を対象にした系列です。

(5) 行事・生徒会活動・部活動

インターンシップ(職場体験)、体育祭、芸術鑑賞会、北高祭、体育行事、ロードレース大会、修学旅行等各種の行事があります。生徒会活動は、様々な行事に向けて企画・運営し、学校活動の要となっています。部活動は、11の運動部、14の文化部があり大会等では数々の実績を残し、活気ある活動をしています。

(6) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	H28	H27	H26
大学	26	27	11
短期大学	10	7	12
専各学校	62	58	60
就職(県内)	80	88	85
就職(県外)	3	4	2
その他	4	8	12
卒業生計	185	192	182

主な進路先(平成29年3月卒業生)

()内は人数 (1)は省略

<大学>

東北学院大学(2)、石巻専修大学(10)、仙台大学(3)、東北文化学園大学(2)、仙台白百合女子大学、日本大学、関東学院大学、多摩大学、埼玉工業大学 他

<短大>

宮城誠真短期大学(3)、聖和学園短期大学(3)、仙台青葉学院短期大学(2)、東北生活文化大学短期大学部、岐阜保健短期大学

<専修各種学校>

仙台コミュニケーションアート専門学校(5)、仙台こども専門学校(4)、仙台ビューティーアート専門学校(4)、仙台大原簿記情報公務員専門学校(4)、仙台医健専門学校(3)、東北電子専門学校(2)、東京法律専門学校仙台校 他

<就職>

日本製紙石巻工場、日本製紙ユニテック、日本製紙石巻テクノ、石巻商工信用組合、いしのまき農業協同組合、宮城県漁業協同組合、南光運輸、阿部勝自動車工業、伊藤製鐵所石巻工場、白謙清舗店、セイホク石巻工場、河南矢本土地区改良区、エネサービズ、マルハニチロ石巻工場、アルプス電気古川工場、ホテル松島大観荘 他

<その他>

国際医療福祉大学塩谷看護専門学校、仙台看護専門学校看護学科、石巻看護学校(5)、大崎看護学校、一関看護高等専修学校、一般曹候補生(2)、自衛官候補生

3 入試情報

(1) 募集定員

総合学科 男女200名

(2) 前期選抜について

イ 学科別の募集割合等

総合学科 定員の40%以内(80名以内)

ロ 出願できる条件

地域産業の担い手を目指し、その実現のために大学又はその他の上級学校への進学や関連産業への就職を通じて、夢を実現しようとする意欲のある者

次の条件の1に該当していることを自己アピールでき、2か3のいずれかの条件を満たしていること。

- 1 基本的な生活習慣が確立している者
 - 2 中学校1～3年生の全教科の評定平均値が3.3以上の者
【調査書】
 - 3 中学校1～3年生の全教科の評定平均値が3.0以上から3.3未満の者【調査書】で、次の(1)～(6)のいずれかの条件を1つ以上満たしている者
 - (1) 学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動のいずれかでリーダーシップを発揮して活動した実績を持ち自己アピールできる者
 - (2) 中学校総合体育大会又は中学校新人大会において、県大会に出場した者
【調査書】
 - (3) 文化部においては、地区大会で入賞し県大会に出場した者又は県レベルの大会及びコンクールにおいて作品等が入賞した者
【調査書】
 - (4) 校外活動のスポーツ、文化、芸術活動において、東北大会、全国規模の大会において優秀な成績を収めた者
【添付書類又は調査書】
 - (5) 漢検、英検、数学検定のいずれかにおいて、4級以上の資格を取得した者
【添付書類又は調査書】
 - (6) 2年以上継続して地域のボランティアサークルに所属し、資格取得又は公的機関から表彰を受けた者
【添付書類又は調査書】
- ◆2及び3の(2)～(6)は「資格確認の対象とする条件」である

ハ 学力検査

国語、数学、英語 各100点

ニ 学校独自検査

個人面接 (配点75点) 15分程度

(3) 後期選抜について

イ 学科別募集人数

総合学科 120名(予定)

ロ 面接・実技の有無

なし

ハ 傾斜配点の有無

なし

ニ 調査書点と学力検査点の比重

5:5

(4) 平成29年度転編入学試験について

(7月以降分)

日程	対象学年	試験科目等
平成29年7月～12月 随時	全学年	国語・数学・英語・
平成30年3月 随時	新2・3年	作文・面接

※ 編入学試験は3月のみです。

4 写真で見る学校生活



北高交流ひろば『と・ら・ま・い』



2年次インターンシップ



各種資格取得



田植え



年次スポーツ大会



北高祭



ロードレース大会

我が校のPRポイント

この春、総合学科開設8年目を迎え、「各系列の学習内容」や「系列を超えた学び」のより一層の充実を図っています。

北高での活動の柱である「3つの学び」では、「系列の学習活動」、「交流ひろば販売所(通称“と・ら・ま・い”)」、「放課後活動(“放課後ゼミ”)」の充実を推進しています。

中でも「交流ひろば販売所」は、本校の活動を地域に発信することで、北高の活動への理解と地域交流を進めています。校舎内に設置された農業関連施設を店舗として活用し、生徒がその経営にあたります。ここでは、本校の田畑やビニールハウスで栽培した農産物や草花の販売に加え、食品製造室で作られたパン(本校で収穫した米を製粉しそれを原料に焼いた米粉パン)や味噌、ソース、塩麴などを商品化して販売します。このほかに、他校が製造した商品を受託販売するなど、学校間の交流も行っています。

水曜日を中心に開店し、各系列で学ぶ生徒がそれぞれの役割を分担しながらその経営にあたっています。本年度は、商品販売の際に各教科や文化部などの活動成果を発表する試みも組み込んだ、「進化した“と・ら・ま・い”」を披露したいと考えています。